

国際共同研究援助 成果報告書

記入日 20XX 年 4 月 1 日

公益財団法人 鹿島学術振興財団 御中

所属機関の名称は、大学院の
研究科、研究所まで記載
※申請時から変更がある場合は
下行に申請当時の機関名称を
() 書きのこと

所属機関・職名 ○○○大学大学院△△△研究科 教授
(申請時：□□□大学▽▽学科 准教授)

研究代表者 財団 太郎

貴財団による国際共同研究援助の研究成果について、下記のとおり
報告します。

※各記入欄は、字数制限がある場合はそれを超えない範囲で行数を増減のこと
フォントは、MS明朝、英文・Century 10pt (研究課題のみ12pt)

研究課題： ※申請時の研究課題を太字12ptで記入

(英語) ※英文も併記

研究代表者： 財団 太郎 ※太字

(英語) Taro Zaidan ※姓はすべて大文字

所属機関・職名： ○○○大学大学院△△△研究科 教授 ※太字

(英語) Professor, Graduate school of … ○○○University

援助期間： 20XX 年 4 月 ～ 20XX 年 3 月

援助総額： 280 万円 ※採択決定額 (複数年度の場合は合計額を記載)

海外研究者グループ代表： ポール・スミス

(英語) Paul Smith

**海外研究者グループ代表
国・所属機関・職名：** ○○国・□□大学△△学部 教授

(英語) Professor, Undergraduate of △△, □□University, ○○

Summary： (英文200単語程度)

研究目的：

※申請時の研究目的を記入

研究報告： (研究内容及び成果、和文2,000字以内)

※本研究によって得られた新知見、成果を主として記載

※図版を使用される場合、図、写真、表等合わせて5点以内

(図版は財団年報に掲載する際は全てモノクロ)

※書式に関する留意事項

a. 見出し

章，節，項の3段階

フォーマットは 章 [1. , 2. , 3. …], 節 [(1), (2), (3)…],
項 [a), b), c)]

b. 句読点

文末に打つ句点は「。」、文中に打つ読点は原則として「、」で表記
ただし、本文中あるいは尾注において外国語、外国文献等を記載する場合は読
点の代わりにコンマ（,）を使用

c. 図表

必ずタイトルをつけ、図と表ごとに付番のこと
番号とタイトルは、ゴシック体 で記載

d. 参考文献等

(1), (2), (3)…として記載

今後の研究の見通し：

※研究計画を今後どのように実施するかについて、進行スケジュールを具体的に記入

共同研究者リスト： ※人数に応じて増減のこと

(1) 共同研究者：日本国

| | |
|-------|---------------------|
| 山田 次郎 | 〇〇大学大学院△△研究科 助教（修士） |
| | ●●調査・分析 |

.....

(2) 共同研究者：海外研究者グループ

| | |
|------|-----------------|
| 李 小龍 | 〇〇国・□□大学△△学部 教授 |
| | データ分析、データ評価 |

.....

発表論文名，著書名，講演項目：（予定を含む、必要に応じて増減のこと）

※発表予定のものは末尾に（発表予定）とし、該当がない場合は「なし」と記載

- (1) 財団太郎「●●の研究－▲▲－」『◎◎レポート』○○出版、20XX年10月
- (2) 財団太郎、山田次郎「●●の研究－▲▲－」『月刊■ ■』XX号、20XX年5月（掲載予定）

以上

20XX 年度 国際共同研究援助 会計報告書

記入日 20XX 年 4 月 1 日

公益財団法人 鹿島学術振興財団 御中

所属機関・職名 ○○大学大学院△△研究科 教授

氏 名 財団 太郎

会計報告は下記のとおりです。

記

| | | |
|---------|---------------|----------------------|
| 1. 研究課題 | ※ 申請時の研究課題を記入 | 当該年度の採択決定額を記入 |
| 2. 援助金額 | 当財団からの援助金額 | 135 万円 |
| 3. 会計報告 | 支出実績額合計 | 135 万円 ※内訳は別紙のとおり |

【記入に関する注意事項】

- ①上記支出実績額合計と当財団からの援助金額とに余剰金が生じた場合は、当財団の指定口座に返還するものとする。（振込手数料は助成者負担）
- ②次頁（別紙）のとおり、申請時に提出した使途内訳（予算額）に実績額を記入し、本報告書に添えて提出する。
- ③交通費を除く、単価10万円以上の支出は領収書（コピー可）を添付のこと

※使途内訳より自動入力
「2. 援助金額」を下回った場合
差額は精算となるので要注意

所属機関・職名:

氏名:

〇〇大学大学院△△研究科 教授

財団 太郎

(単位:円)

| 費用項目 | 使途区分 (内訳) | 申請時予算額 | 支出実績額 | | | 計 |
|-------------------------------------|------------------------|------------|-------|---------|---------|------------|
| | | | 数量 単位 | 単価 | 金額 | |
| 設備備品費 (品名) | 〇〇計測用端末 | 100,000 | 2 台 | 48,000 | 96,000 | 96,000 |
| | | | | | 0 | |
| | | | | | 0 | |
| | | | | | 0 | |
| | | | | | 0 | |
| 消耗品費 (品名) | 〇〇実験の試験体 | 60,000 | 3 体 | 20,000 | 60,000 | 183,000 |
| | 〇〇解析ソフト | 100,000 | 1 個 | 100,000 | 100,000 | |
| | 事務用品 | 30,000 | 1 式 | 23,000 | 23,000 | |
| | | | | | 0 | |
| | | | | | 0 | |
| 旅費(事項) 例)〇に関する 現地調査 (行先〇〇) | 〇〇の現地調査(〇〇県〇〇市)2名 | 120,000 | 2 回 | 58,000 | 116,000 | 171,000 |
| | 〇〇学会発表(〇〇県〇〇市)1名 | 50,000 | 1 回 | 55,000 | 55,000 | |
| | | | | | 0 | |
| | | | | | 0 | |
| | | | | | 0 | |
| 謝金(事項) 例)調査補助 〇人×〇日 | 実験補助 4人×10日 | 300,000 | 40 人日 | 6,000 | 240,000 | 540,000 |
| | データ解析 2人×30時間 | 300,000 | 60 人時 | 5,000 | 300,000 | |
| | | | | | 0 | |
| | | | | | 0 | |
| | | | | | 0 | |
| 印刷製本費 (事項) | 論文印刷費・掲載料 (他財源から充当) | 100,000 | 1 式 | 0 | 0 | 0 |
| | | | | | 0 | |
| | | | | | 0 | |
| | | | | | 0 | |
| | | | | | 0 | |
| その他 (事項) | 外部委託費(〇〇調査) | 300,000 | 1 式 | 300,000 | 300,000 | 360,000 |
| | 車両レンタル料(〇〇調査) | 40,000 | 3 回 | 20,000 | 60,000 | |
| | | | | | 0 | |
| | | | | | 0 | |
| | | | | | 0 | |
| 申請時予算額 | | 1,500,000円 | 援助金額 | 135万円 | 支出実績額 | 1,350,000円 |

単位は必ず記入

申請時の支出内容の変更については
簡単に理由を記入 (欄外に注書でも可)

※上記科目は適宜修正しても構いません。

支出実績額が援助金額を下回る場合は差額分を精算